

ベナンの風便り

2009年9月号

みなさんお元気ですか？こちらベナンはなぜかとても涼しい日が続いています。他の国も今年はとても涼しいらしく、また雨季にはあまり雨が降りませんでした。例年以上に降っている国もあるのかもしれませんが、どちらにしても作物がとれなかったり、水害が起こったりなどの被害が出てしまいます。もしかしたら日本などの先進国によるところが大きい地球温暖化の影響がこんなところにも影響しているのかもしれませんが。みなさん他の国の人たちのためにもできる限りのエコ生活を心がけましょうね。

さて先日職場である統計資料を目にしました。ベナン全土の学校の進級状況の表です。今回はある学校のデータを例にベナンの中学校の進級事情を紹介したいと思います。

ベナンの進級事情

	生徒数(人)			進級者数(人)				留年者数(人)				強制退学者数(人)				自主退学者数(人)			
	男	女	計	男	女	計	割合(%)	男	女	計	割合(%)	男	女	計	割合(%)	男	女	計	割合(%)
中1	433	201	634	200	103	303	47.8	31	25	56	8.8	0	0	0	0.0	202	73	275	43.4
中2	372	225	597	190	110	300	50.3	170	110	280	46.9	2	1	3	0.5	10	4	14	2.3
中3	577	280	857	300	139	439	51.2	175	115	290	33.8	29	14	43	5.0	13	12	25	2.9
中4	365	207	572	163	77	240	42.0	120	90	210	36.7	50	30	80	14.0	32	10	42	7.3

これはある中学校のデータです。ベナンは中学校が4年制なので中4までのデータを載せました。まずは「生徒数」を見てみましょう。1学年の人数がとても多いですね。ベナンではまだまだ学校の数が足りず、多くの生徒が数少ない中学校に集まっています。また男子と女子の人数を比べてみてください。女子の人数が少ないことに気づくのではないかと思います。女子は中学校に進級させてもらえず、家で家事などをさせられることが多いようです。次に「進級者数」を見てみましょう。どの学年も進級率は50%前後。毎年進級審査があり、これに合格することができないと進級することができません。ちなみにこれは小学校でも同じです。では合格できなかった生徒はどうなるのかというと・・・そう、留年です。「留年者数」を見てみましょう。留年者数とは進級できなくて学校に残る生徒のことです。中2から中4まではとても高い確率で留年していることが分かりますが、中1の留年者数は少ないですね。どう



してでしょう？これはまた後ほど説明しますね。次に「強制退学者数」です。これは問題行動を起こした生徒。そして留年が続いた生徒の数に当たります。ベナンでは同じ学年にいられるのは2年間までと決まっていますが、それでも駄目なら退学です。それ以降勉強を続けたい場合は転校をしなければなりません。進級率が低い割に学年が上がっても生徒数が多いのは、他校から転校してくる生徒もいるからです。また中1

はまだ勉強もそれほど難しくないので何度か挑戦すれば進級できますが、学年が上がるにつれ勉強も難しくなり、高校へ進学するための卒業試験のある中4はこれに合格することができず多くの生徒が学校を去ります。次に「自主退学者数」です。これは自らの意志（もしくは親の意思！？）で学校をやめる生徒の数ですが、中1で異常に多いですね。これは小学校を卒業した流れで中学校に入学したはいいいけど、勉強についていけない、もしくは家のために働かなければいけないなどの事情でやめていく生徒が多いからです。中1の留年者数が少なかったのは、留年が決まった時点で学校を自らやめてしまう生徒が多いからではないかと思えます。

これは地方の学校のデータなので都市の学校の進級事情はまた若干違っているようですが、勉強をしたくてもなかなか思うように進級することができないのが現状のようです。日本では小学校から中学校卒業までほぼ100%の生徒がそこまでの苦勞をすることなく進級していくことができます。それだけでなく、きれいなカラー刷りの教科書が毎年無料配布されますよね。日本で生活をしているとどうしても当然だと思ってしまうのですが、こんなに良い待遇は世界的に見ても限られた国だけのことです。勉強することができる幸せを感じて、望んでもできない人たちの分まで頑張ってくださいね！



ブログ更新中

ベナンの風：<http://benin.seesaa.net/>